



2025年12月期 決算説明会資料

2026年2月18日(水)



We Craft Your Imagination.

本日の説明会の流れ

- 01 連結会計期間の概況**
- 02 新規参画会社と合併再編
(ロールアップ) について**
- 03 当社の企業価値の考え方について**
- 04 FY2025～FY2028のトピックス
設備投資について**

01 FY2025の結果について

トピックス

- **新規参画企業もあり、増収**
- **原材料費・人件費の増加・金利上昇により減益**
- **資産売却資金を積極的に投資**

01-1 2025年12月期 連結会計期間の概況

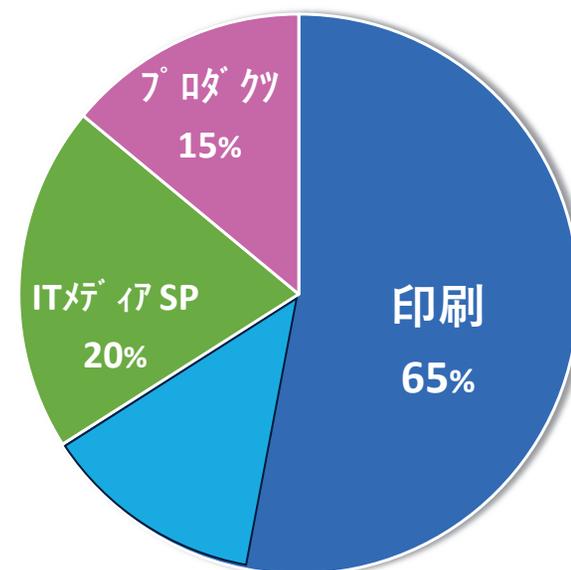
売上増加の内容

2025年12月期 ----- 連結子会社 39社*
売上高 **86,987**百万円

2024年12月期 ----- 連結子会社 39社
売上高 **80,100**百万円

+6,887百万円 **8.6%増**

売上構成比



* 2025年12月末39社のうち、連結子会社間吸収合併により7社減、新規連結により5社増、持分法より変更2社増

01-2 2025年12月期 連結会計期間の概況

売上増加の内容

2025年12月期 ----- 連結子会社 **39社***
 売上高 **86,987**百万円

2024年12月期 ----- 連結子会社 **39社**
 売上高 **80,100**百万円

+6,887百万円

8.6%増

⇒売上増加分 **約72.8億円**

新規企業連結による影響

望月印刷	2024年 4月～	1Q	※PL
共同製本	2024年 4月～	1Q	
アスコム	2024年 4月～	1Q	
Sakae Plus	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q + 4Q	
STUDIO ARC	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q + 4Q	
アイ・ディー・イー	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q + 4Q	
ハルプロモーション	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q + 4Q	
アエックス	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q + 4Q	
DNTI	2025年 4月～	2Q + 3Q + 4Q	
フジプラス	2025年 7月～	3Q + 4Q	
シルキー・アクト	2025年 7月～	3Q + 4Q	

* 2025年12月末39社のうち、連結子会社間吸収合併により7社減、新規連結により5社増、持分法より変更2社増

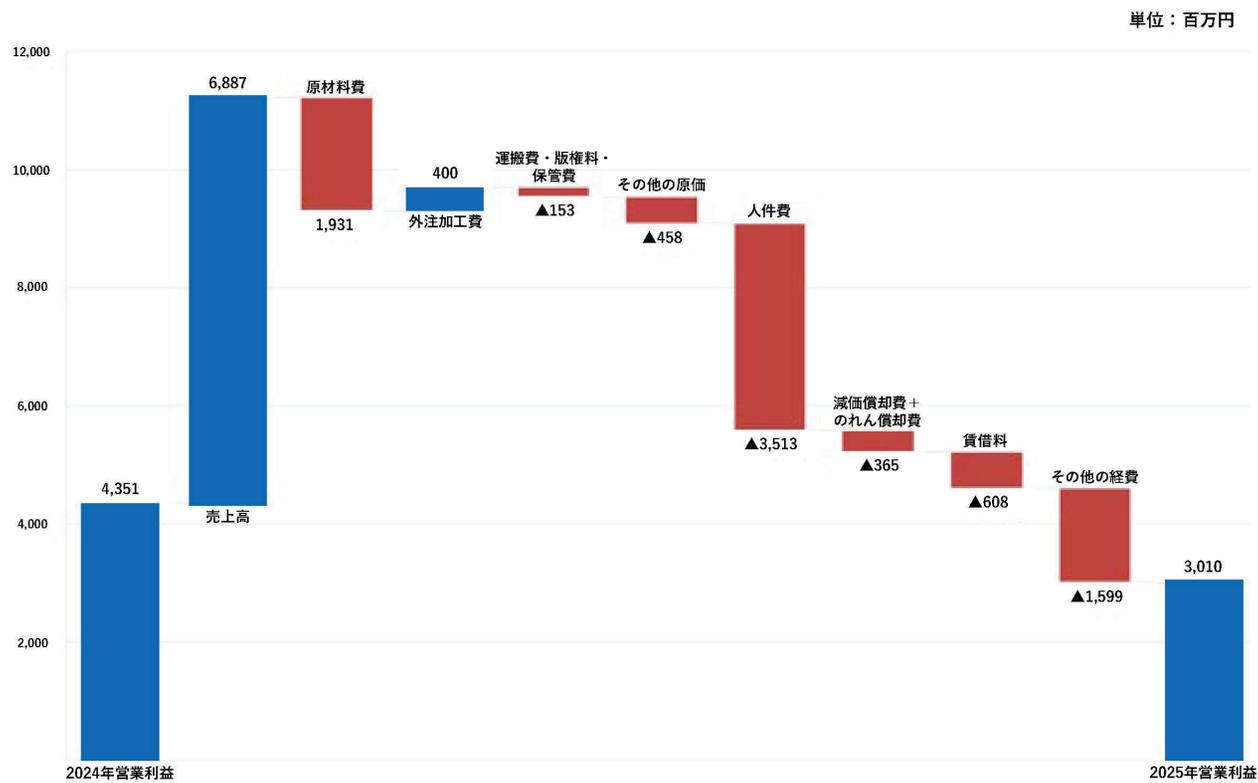
01-3 2025年12月期 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト

売上高 8.6%増	支払利息 289百万円 増加
人件費 15.1%増	短期借入金 2,000百万円 減少
売上総利益率 29.3% ⇒ 31.9%	社債 3,749百万円 増加
	長期借入金 6,250百万円 増加
付加価値の増加 + 内製化率向上 先行して人件費(時給)を見直し 売上高営業利益率 5.4% ⇒ 3.5%	自己株式 314百万円 減少
	純資産合計 15,992百万円⇒21,283百万円

01-4 2025年12月期 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト



01-5 2025年12月期 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

	2025年 実績 (A)	2025年12月期 計画 (B)		2024年 実績 (C)	差異 (A-C)	
	金額	金額	対計画比 進捗率	金額	金額	対前期比 増減率
売上高	86,987	85,000	102.3%	80,100	6,887	8.6%
営業利益	3,010	3,600	83.6%	4,351	▲ 1,341	▲ 30.8%
営業利益率	3.5%	4.2%	—	5.4%	—	—
経常利益	3,201	3,200	100.0%	4,198	▲ 997	▲ 23.8%
経常利益率	3.7%	3.8%	—	5.2%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,530	5,500	118.7%	2,871	3,659	127.4%
当期純利益率	7.5%	6.5%	—	3.6%	—	—
EBITDA (営業利益ベース)	5,322	5,850	91.0%	6,298	▲ 976	▲ 15.5%
EBITDA (経常利益ベース)	6,164	6,030	102.2%	6,503	▲ 338	▲ 5.2%

※EBITDA (営業利益ベース) = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額
 EBITDA (経常利益ベース) = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

01-6 2025年12月期 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

		2025年12月期	2024年12月期	前期比増減	増減率
a	売上高	86,987	80,100	6,887	8.6%
	原材料費	19,360	17,429	1,931	11.1%
	商品仕入	159	▲ 79	238	－ %
b	外注加工費	20,092	20,493	▲ 400	▲ 2.0%
	運搬費・著作権料・保管費	3,193	3,040	153	5.0%
	その他の原価	241	21	220	－ %
a - b		43,941	39,196	4,744	12.1%
	人件費	26,785	23,272	3,513	15.1%
	減価償却費	2,150	1,865	284	15.3%
	のれん償却費	161	80	80	99.9%
	賃借料	2,326	1,718	608	35.4%
	租税公課	545	479	65	13.7%
	貸倒費用	3	22	▲ 18	▲ 82.7%
営業利益		3,010	4,351	▲ 1,341	▲ 30.8%
	支払利息	▲ 536	▲ 246	▲ 289	－ %
	持分法投資損益	251	179	71	39.8%
経常利益		3,201	4,198	▲ 997	▲ 23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益		6,530	2,871	3,659	127.4%

01-7 2025年12月期 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

科目	2025年12月期末		2024年12月期末		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動資産	35,643	41.9%	34,857	46.4%	785	2.3%
現金及び預金	11,511	13.5%	12,244	16.3%	▲ 732	▲ 6.0%
受取手形	467	0.5%	1,028	1.4%	▲ 561	▲ 54.6%
売掛金	13,865	16.3%	13,321	17.7%	544	4.1%
電子記録債権	2,794	3.3%	2,349	3.1%	445	19.0%
その他	7,004	8.2%	5,914	7.9%	1,089	18.4%
固定資産	49,415	58.1%	40,246	53.6%	9,169	22.8%
有形固定資産	35,052	41.2%	29,139	38.8%	5,913	20.3%
建物及び構築物	8,931	10.5%	8,452	11.3%	478	5.7%
機械装置及び運搬具	4,956	5.8%	2,709	3.6%	2,246	82.9%
土地	17,499	20.6%	17,369	23.1%	129	0.7%
建設仮勘定	3,121	3.7%	121	0.2%	3,000	2,473.2%
その他	545	0.6%	485	0.6%	59	12.3%
無形固定資産	1,597	1.9%	1,391	1.9%	205	14.8%
のれん	662	0.8%	388	0.5%	274	70.6%
その他	934	1.1%	1,003	1.3%	▲ 68	▲ 6.8%
投資その他の資産	12,764	15.0%	9,715	12.9%	3,049	31.4%
投資有価証券	8,664	10.2%	5,745	7.7%	2,919	50.8%
その他	4,099	4.8%	3,969	5.3%	130	3.3%
資産合計	85,058	100.0%	75,103	100.0%	9,954	13.3%

01-8 2025年12月期 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

科目	2025年12月期末		2024年12月期末		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動負債	38,925	45.8%	44,367	59.1%	▲ 5,441	▲ 12.3%
買掛金	4,177	4.9%	3,842	5.1%	335	8.7%
短期借入金	23,000	27.0%	25,000	33.3%	▲ 2,000	▲ 8.0%
1年内償還予定の社債	500	0.6%	-	- %	500	- %
1年内返済予定の長期借入金	4,300	5.1%	7,000	9.3%	▲ 2,700	▲ 38.6%
その他	6,947	8.2%	8,525	11.4%	▲ 1,577	▲ 18.5%
固定負債	24,848	29.2%	14,743	19.6%	10,105	68.5%
社債	3,749	4.4%	-	- %	3,749	- %
長期借入金	17,225	20.3%	10,975	14.6%	6,250	56.9%
退職給付に係る負債	47	0.1%	54	0.1%	▲ 6	▲ 12.5%
その他	3,826	4.5%	3,713	4.9%	112	3.0%
負債合計	63,774	75.0%	59,111	78.7%	4,663	7.9%
株主資本	20,477	24.1%	15,206	20.2%	5,270	34.7%
資本金	100	0.1%	100	0.1%	-	- %
資本剰余金	4,870	5.7%	4,663	6.2%	207	4.4%
利益剰余金	17,099	20.1%	12,351	16.4%	4,748	38.4%
自己株式	▲ 1,593	▲ 1.9%	▲ 1,907	▲ 2.5%	314	▲ 16.5%
その他の包括利益累計額	265	0.3%	153	0.2%	112	73.6%
非支配株主持分	541	0.6%	632	0.8%	▲ 91	▲ 14.5%
純資産合計	21,283	25.0%	15,992	21.3%	5,291	33.1%
負債・純資産合計	85,058	100.0%	75,103	100.0%	9,954	13.3%

02

新規参画会社と合併再編

トピックス

- 新規参画企業 5社
- 合併（ロールアップ）14社→6社
(内1社は持分法)
- 資産売却資金を積極的に投資

02-1 新規参画会社と合併再編

株式会社サンメック

食品用ラベル、工業製品用ラベルの製造

糊・エンボス・箔・素材・形状など
多くの工夫を実現することが可能



新潟市西区

(議決権比率100.0%)



02-1 新規参画会社と合併再編

株式会社鈴木松風堂

京都市南区

(議決権比率100.0%)

酒類・化粧品の包装材
菓子類の包装材など

糊・エンボス・箔・素材・形状など
多くの工夫を実現することが可能



02-1 新規参画会社と合併再編

株式会社日本サンプル

名古屋市中川区
(議決権比率100.0%)

食品サンプルの製造
フルーツ・菓子など エンドクライアントからの受注

シリコンで型を作り、樹脂をオーブンで
焼き固める



02-1 新規参画会社と合併再編

株式会社紋郎美術工房

奈良県大和郡山市

(議決権比率100.0%)

FRP形成⇒着色

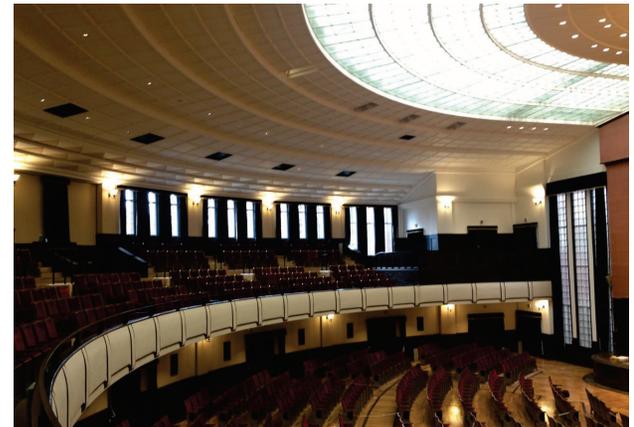
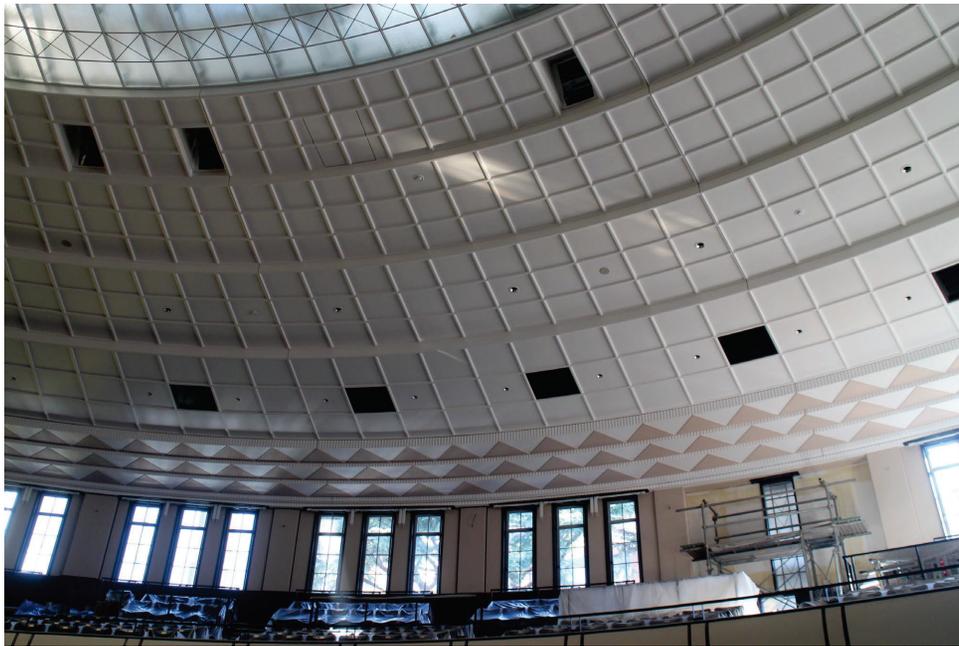
- ・大型立体モニュメント
- ・強度を活かしたテーマパークのライド
- ・軽量かつ強度があり対候性もあることから
建築資材としての活用が広がっている



02-1 新規参画会社と合併再編

株式会社紋郎美術工房

奈良県大和郡山市
(議決権比率100.0%)



02-1 新規参画会社と合併再編

FY2025期 事業上のアクション

ポイント①-1

事業の統合・再配置

美松堂と宏和樹脂工業・プレシーズの合併 2025年1月1日

→顧客基盤が近似している営業組織の統合

funboxとスマイルの合併 2025年1月1日

→営業と経営管理の統合 + 製造拠点の強化

大光宣伝と大宣工房の合併 2025年1月1日

→営業組織と製造組織の統合

02-1 新規参画会社と合併再編

FY2025期 事業上のアクション

ポイント①-2

事業の統合・再配置

リングストーンとカタオカプラセスの合併 2025年7月1日 (カタオカプラセスは持分法適用子会社)

→ポリエチレン商材を扱う2社の経営資源を一元化

田中産業とMGSの合併 2025年7月1日

→MGSの営業組織と製造組織の統合

美松堂と共同製本の合併 2025年8月1日

→印刷・製本事業を扱う2社の経営資源を一元化

東京リスマチックとソニックジャムの合併 2025年11月1日

→経営体制を集約

02-1 新規参画会社と合併再編

FY2025 事業上のアクション

ポイント②

M&Aによる事業強化

サンメックの子会社化

→シール印刷 特殊印刷カテゴリーの強化

鈴木松風堂の子会社化

→紙管・和洋包装資材・化粧箱 新たな商材の拡充

日本サンプルの子会社化

→食品サンプルの製造販売

紋郎美術工房の子会社化

→テーマパーク造形物・モニュメントの設計・製作・施工

03

当社の企業価値に関する考え方

トピックス

- **事業環境の変化**
生産性を向上させる印刷
付加価値の高い印刷
- **ユニークなソリューションを組み合わせ**
新たな価値を創る（創発する）グループ

03-1 当社の企業価値に関する考え方

印刷関連事業

- ・生産性向上 ⇒ 徹底的な効率化投資
手間+人手を省力化推進
- ・高付加価値 ⇒ 付加価値の高い印刷物へ大幅にシフト
〈大胆な設備廃棄+統廃合+最新鋭生産設備の導入〉

ITメディアセールスプロモーション ⇒ 販促・イベントに企画より携わる
アプリケーション

プロダクツ

- ⇒ 付加価値の追求
手間+人手を省力化推進

顧客ニーズに対して きめ細やかにお応えする

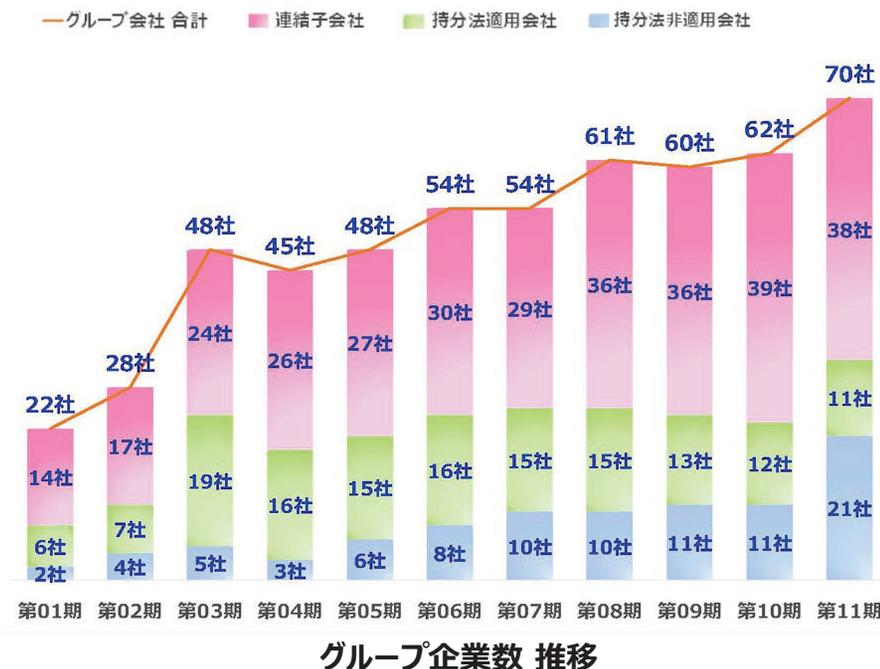
クリエイティブ サポートグループ

03-1 当社の企業価値に関する考え方

魅力的な企業にグループ参画いただく

- ① 企業は作る(造る)こと、売ることに集中
- ② 必要なグループサポート(協業・製造など)
- ③ グループ資産を集中投資

PMIを通して 企業をバリューアップ
年間 数社のM&Aを連続して行っている



03-1 当社の企業価値に関する考え方

財務的アプローチ

① アセットアロケーションの変更

不動産の売却

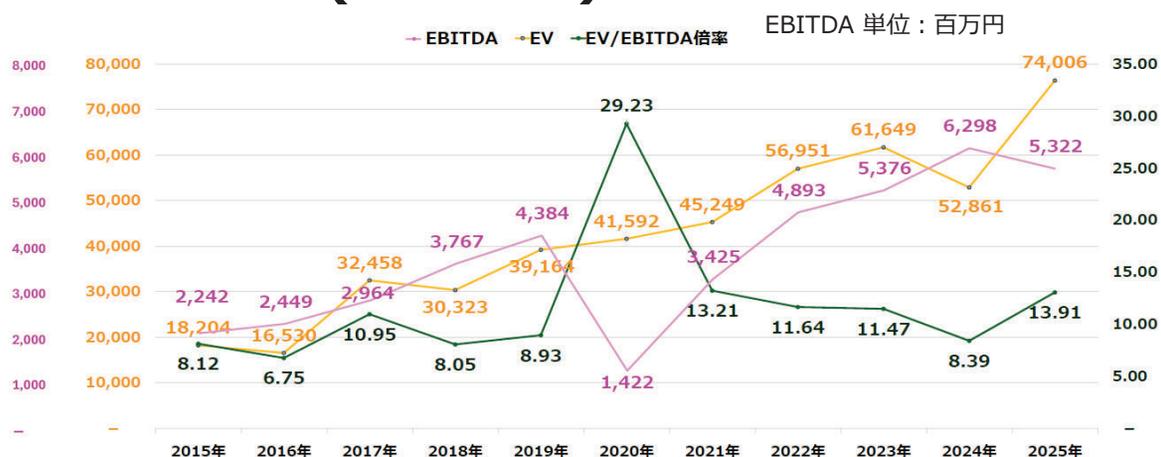
→不動産の売却による特別利益の計上 + 設備投資による生産性の向上

長期資金の借り入れ

→金利上昇に対応し、長期固定化を進めている

03-1 当社の企業価値に関する考え方

② Cash flow(EBITDA)の増加



EV/EBITDA

- ① 純有利子負債 up
- ② EBITDA up
- ③ 時価総額 up

上昇
下落
上昇

⇒ 企業の目的は、社会的価値を高めること
付加価値の向上 → Cashを生み出す

好循環をつくるために
投資をする

03-1 当社の企業価値に関する考え方

③ 配当に関する考え方

- ・2015年設立以後、安定した配当を継続
- ・2019年12月期 それまでの6円/1株（分割等調整後）
⇒ 7円/1株 に増配

「企業の成長を実現し、株主の期待に応える」

- ① 金銭配当
- ② 自社株式の買入れ
- ③ Cash flow(EBITDA)の増加
- ④ 株価の上昇

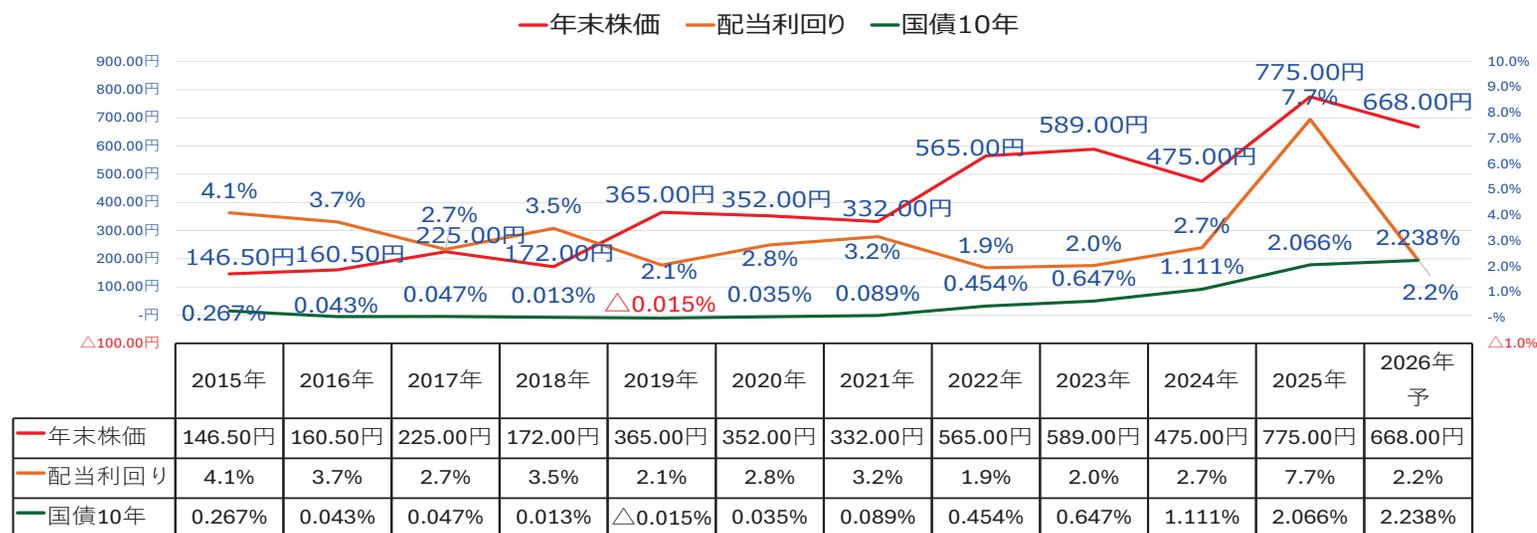
EV(企業価値)
の向上

03-1 当社の企業価値に関する考え方

・金銭配当

(単位：円)

	1期 2015年 12月期	2期 2016年 12月期	3期 2017年 12月期	4期 2018年 12月期	5期 2019年 12月期	6期 2020年 12月期	7期 2021年 12月期	8期 2022年 12月期	9期 2023年 12月期	10期 2024年 12月期	11期 2025年 12月期	12期 2026年 12月期予
年間配当	6.00	6.00	6.00	6.00	7.00	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00
特別配当					0.50						46.00	
配当合計	6.00	6.00	6.00	6.00	7.50	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	60.00	15.00
1株当たり利益	-9.22	11.59	27.59	-18.86	26.20	0.36	18.91	41.54	50.94	58.92	139.01	42.23
配当性向	-	51.7%	21.8%	-	28.6%	2,807.8%	55.5%	26.5%	23.6%	22.1%	43.2%	35.5%



03-1 当社の企業価値に関する考え方

・自社株式の買入れと処分(株式交換による払い出しなど)

…株主からの買入れと、株式交換等による処分を行い、
資本政策を進めている

	1期 2015年 12月期	2期 2016年 12月期	3期 2017年 12月期	4期 2018年 12月期	5期 2019年 12月期	6期 2020年 12月期	7期 2021年 12月期	8期 2022年 12月期	9期 2023年 12月期	10期 2024年 12月期	11期 2025年 12月期	12期 2026年 12月期予
金銭配当 (円)	6.00	6.00	6.00	6.00	7.50	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	60.00	15.00
自己株式買付金額 (百万円)	—	953	279	1,310	878	—	756	—	—	1,698	630	—
自己株式処分金額 (百万円)	—	-359	-873	-31	—	-1,037	-24	—	-1,625	-18	-953	—
1株当たり総還元額 (円)	6.00	19.02	-7.09	31.14	25.55	-11.43	25.05	11.00	-21.00	47.47	53.14	15.00
総還元性向	—	164.0%	-25.7%	—	97.5%	-3,208.3%	132.5%	26.5%	-41.2%	80.6%	38.2%	35.5%

※ 金銭配当 = 普通配当 + 特別配当

04

FY2025～FY2028のトピックス

トピックス

- **資産売却による売却利益**
- **資産売却によるロケーション変更**
- **将来の企業価値向上を企図する設備投資
償却負担の予想とキャッシュフロー**

04-1 FY2025～FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント①

生産性の向上に積極投資

特別利益と特別損失

不動産売却益

約4,000百万円 + 約1,400百万円 = 約5,400百万円を活用する

事業構造の改革関連の費用 640百万円 → 253百万円

- ① 生産性向上を目的とする事業拠点の集約（移転を含む）
- ② 生産性向上を目的とする設備投資（廃棄 + 新設）
- ③ 不動産売却に伴う移転費用等

04-1 FY2025～FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント②

生産性の向上に積極投資

・徹底的な効率化

生産設備の移転・統合

- ①印刷事業 関西地域での生産設備の大胆な統合（移転集約）
- ②印刷事業 関東地域での設備の移転と設備投資（廃棄＋新設含む）
- ③プロダクツ 主力工場の完成は2026年2月⇒稼働5月予定
一部印刷工場⇒プロダクツ製造設備併設に業容変更

設備投資額は当初計画より増加 2025年稼働 **43**億円
初年度FY2026.12月 減価償却費 負担増を見込む

04-1 FY2025~FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント②

生産性の向上に積極投資（関西地域）

小西印刷所

本社工場（西宮 今津）を廃止

→生産をフジプラス（伊丹）に移動

フジプラス 伊丹工場

輪転設備を一部廃止、枚葉印刷を強化

両社の輪転受注は 研精堂（岡山）にて生産

→自社便で運送

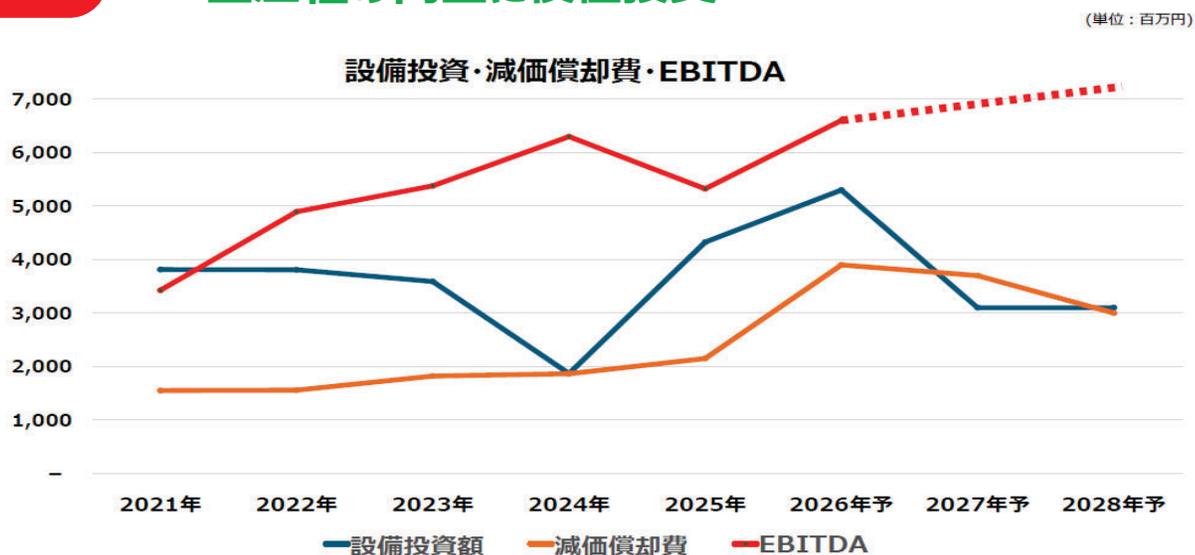


04-1 FY2025~FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント②

生産性の向上に積極投資



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年予	2027年予	2028年予
設備投資額	3,813	3,808	3,590	1,868	4,324	N D	N D	N D
減価償却費	1,550	1,557	1,822	1,865	2,150	3,900	3,700	3,000
EBITDA	3,425	4,893	5,376	6,298	5,322	6,600	N D	N D

04-1 FY2025～FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント③

事業利益率の改善への具体策を実行

利益率の改善

売上を追及せず、付加価値を提供

- 人件費上昇＋原価上昇＋金利上昇に対して生産性向上で対応する
- 印刷製造事業について大幅な設備の移転と投資を行う
 - ⇒FY2027以降にて収益性改善を実現

04-1 FY2025～FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント④

金利上昇懸念へのアクション

成長資金の確保

有利子負債

→FY2024末 42,975百万円⇒FY2025末 48,774百万円

金利上昇に対応して長期短期バランス調整を進める

→固定化にかかる費用をFY2025に計上

⇒将来にわたる金利上昇懸念に対応する

今後も方針は継続する

04-1 FY2025~FY2028のトピックス

FY2028 に向けて

ポイント⑤

人件費増加と人時生産性の向上

物価高騰を背景とした給与水準の見直し

2025年4月1日 139名の新卒が入社（2026年4月1日 120人の新卒入社予定）
2024年12月31日 3,576名 ⇒ 2025年12月31日 4,038名

新人事システムの稼働（2025年7月）

- ① 人的資本の活性化
- ② グループ会社の人財を積極的に育成し活性化させる

04-1 FY2025~FY2028のトピックス

(単位：百万円)

	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (計画)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	86,987	95,000	8,012	9.2%
営業利益	3,010	2,400	▲ 610	▲ 20.3%
経常利益	3,201	3,600	398	12.5%
EBITDA (営業利益ベース)	5,322	6,600	1,277	24.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,530	2,000	▲ 4,530	▲ 69.4%
EPS (円 銭)	139円01銭	42円23銭		
1株当たり年間配当金 (円 銭) (普通配当)	14円00銭	15円00銭		
1株当たり特別配当金 (円 銭)	46円00銭	—		
1株当たり年間配当金 (円 銭)	60円00銭	15円00銭		

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpg.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当